

子どもの相談を受け、助けてくれる 「子どもの権利擁護委員」

いじめ・虐待など子どもの権利侵害について、相談を受け、救済につなげることを目的として「西東京市子どもの権利擁護委員」を設置し、子どもの権利擁護委員が関わる「子ども相談室」を開設します。

子ども相談室では、相談の専門員があなたの話をじっくり聞きます。そして相談に応じて助言や支援を行い、救済するための調査・調整や要請・意見表明を行います。子どもを救済するための要請などを行った後

は、必要に応じて引き続き見守りなどの支援を行います。

子ども相談室は、令和元年8月に開設する予定です。また、今後「西東京市子どもの権利擁護委員」や「子ども相談室」が身近に感じられるような愛称を募集する予定です。市報などでお知らせしますので、ぜひご応募ください。

▶子育て支援課 ☎042-460-9841

子ども相談室への相談・救済の流れイメージ

こんなとき…

1. 学校で／家で／どこでも
2. つらいこと、苦しいこと、困ったこと
3. いじめられている
4. 家族につよくたたかれる
5. どうしたらいいかわからない

友だちのことでも大丈夫です。



どんなことでも話してみてね！

子ども相談室 (子どもの権利擁護委員)

- あなたの気持ちを一番大切に考えます。
- まずは相談の専門員があなたの話をじっくり聞きます。

ひみつを守るよ！



一緒に考えます

どうしたらいいか、一番いい方法を一緒に考えます。

調べる・協力を依頼する

- 一緒に考えたことについて、関係する人に話を聞いて、調べたりできます。
- 子どもの気持ちを代わりに伝えることもできます。

要請・意見表明

関係する人に、こうなればもっとよくなるなど、意見を言うことができます。

安心した！どうすればいいかわかった！
もう大丈夫！

西東京市民文化祭ポスター用 イラスト作品を募集！

市民文化祭のポスターや総合プログラム表紙に掲載するイラスト作品を募集します。市民文化祭のテーマ「出会い ふれあい 文化の輪」にちなみ、市民と市民文化祭の関わり、市民文化祭の様子や魅力などが感じられるすてきな作品をお待ちしております。あなたの作品で街中を彩り、一緒に市民文化祭を盛り上げましょう。

対 在住・在勤・在学(市近隣の学校などを含む)の高校生以上

申 6月17日(月)午前9時～7月11日(休)午後5時に、所定の応募用紙と作品を文化振興課(保谷庁舎3階)へ持参

□表彰 ●最優秀賞 1 作品

●優秀賞 2 作品

※詳細は、5月上旬から下記で配布する募集要項または市HPをご覧ください。

▶文化振興課 ☎042-438-4040



平成30年度的最優秀作品

子ども日本語ボランティア入門講座

市内には約4,700人の外国人住民がいます。西東京市に暮らす外国にルーツをもつ子どもたちの日本語学習を支援し、地域につないでいく子ども日本語ボランティアの入門講座を開催します。

外国語が話せなくてもかまいません。ぜひご参加ください。

時・場・内 下記参照

対 外国人住民への支援活動に関心があり、講座修了後の活動が可能で、全8回の講座のうち6回以上出席できる方
定 35人(申込多数は抽選)

申 5月16日(休)の講演会終了後に説明会と受講申込受付

❖講演会「外国につながる子どもの教育の現状」

外国にルーツをもつ子どもたちは日本でどのように生活をしているのでしょうか。学校や家庭での様子を知ってみませんか。

時 5月16日(休)午後2時～4時

場 田無庁舎2階

※当日、直接会場へ

定 50人(先着)

講 野山広さん(国立国語研究所)

□共催 NPO法人西東京市多文化共生センター(NIMIC)

▶文化振興課 ☎

042-438-4040

	日時	場所	内容
①	5月16日(休)	田無庁舎	外国につながる子どもの教育の現状
②	23日(休)	イングビル	散在地域の子どもたちの状況と学習支援例(1)
③	30日(休)		子どもたちの日本語習得と学習言語への移行について
④	6月5日(休)		散在地域の子どもたちの状況と学習支援例(2)
⑤	8日(土)	田無庁舎	子どものための日本語学習機材とリライト
⑥	18日(火)		保護者や周囲の人たちとのコミュニケーション(やさしい日本語)
⑦	27日(休)	イングビル	子ども日本語教室での見学・体験に向けて
	6月下旬～7月中旬まで	各日本語教室	日本語教室での見学・体験
⑧	7月18日(休)	イングビル	今後の活動に向けて



多摩六都科学館ナビ

〈ダンス de カガク〉楽しく動いて背すじピン！

どのようにしたら美しく、かっこよく歩くことができる？

たくさんカラダを使って遊びながら、その仕組みをさぐってみよう。

時 5月25日(土)午前10時～11時30分

対 小学生(小学3年生以下は保護者同伴)

¥入館券500円(小人200円)

〈ダンス de カガク〉大人のためのカタのほぐし方

肩こりはどうして起こるのでしょうか。

その仕組みを知り、カラダをほぐすダンスでコリ知らずを目指してみませんか？

時 5月25日(土)午後1時～3時

対 18歳以上 ※現在治療中の方はご本人の責任においてご参加ください。

¥入館券500円

□共通

定 各20人 講 Big Family Tokyo

申 5月14日(火)(必着)までに、問のHPからまたははがきでイベント名・開催日・時間・住所・氏名・年齢(学年)・電話番号を問へ

□協力 石井文由さん(明治薬科大学セ

ルフメディケーション学研究室教授)
※応募多数は抽選し、当選者のみに参加券を送付

場・問 多摩六都科学館

☎042-469-6100

休館日：7日(火)～10日(金)・13日(月)・20日(月)・27日(月)

ロクト
サイエンス
コラム

59

5月は愛鳥週間です

西東京市では「市の鳥」は制定されていませんが、旧保谷市ではシジュウカラが「市の鳥」とされていました。春先によく聞かれる「ツツピー、ツツピー」という鳴き声の主がこのシジュウカラです。体のサイズはスズメと同じくらい。全体的に青みがかった灰色の体をしていて、黒い頭に白い頬、喉から胸にかけてはネクタイのような黒い縦線があるのが特徴です。冬になっても渡りをしないので、住宅街の庭先や公園などで一年中よく見

られます。

街中でよく見かける鳥といえば、スズメ・ハト・カラスくらいと思いますが、意識して見てみると意外と多くの種類がすんでいることに気づきます。5月の10日～16日はバードウィーク(愛鳥週間)。いつもより目や耳を少し鋭くして、鳥たちの姿や声を意識してみてください。

